

3-2 区内事業者の環境ISO体験記

FP 福島印刷工業株式会社

【会社概要】



【ときわ台工場】

所在地:板橋区前野町6-5-1
電話:03(3965)1271
FAX :03(3965)1275
代表者名:福島宏昌
創立:1958年5月20日
資本金:15,000万円

【他の事業所】

本社:新宿区下落合
東北事業部:宮城県多賀城市(1982年3月)
大阪支店:大阪市北区(1976年5月)

事業内容 : 各種ラベル・パッケージの企画デザイン・開発・製造

東武東上線の「ときわ台駅」北口より、徒歩約12分のSB通り沿いに位置する「ときわ台工場」は当社の生産拠点として1976年11月に同地に設立しました。

【ときわ台工場の生産設備】

- プリプレス : CTP化(フィルムレス)したオフセット版・樹脂版・フレキソ版の各製版装置
- 印刷機 : オフセット印刷機・オフセット輪転機・フレキソ輪転機・輪転シルクスクリーン凸版輪転機・凸版間欠輪転機・凸版平圧機
オンデマンド(デジタル)印刷機
- 加工機 : 断裁機・抜き加工機・その他の各種加工機
- 検査機 : 平版用・巻取り用の検版機および各種の画像検査機

他、グラビア印刷機以外のあらゆる生産設備を整えています。

【ISOへの取組み】

当社のお客様には大手企業様が多く、1998年頃からISO規格に基づく管理体制の要求が強くなるとともに社会的な要求もあり、ISO規格への取組みを行うことにしました。

まず、文書体制の整備という観点からISO9001への取組みを行い、2000年度に認証を取得。1年後の定期審査終了後に、ISO14001への取組みを開始し、2002年に認証を取得しました。認証取得で苦慮しましたことは、認証取得の範囲はお客様に対する必要性はどの事業所でも同じということから、4事業所を同時に取得ということでした。

(本社:新宿区 ときわ台工場:板橋区 東北事業部:宮城県多賀城市 大阪支店:大阪市北区)

それぞれの各事業所においては、ISOに対する従業員の温度差もあり、勉強会や各段階での準備の確認や指導が大変でした。特に神経を使ったのは、ISO14001への取組み段階において<法に基づいた廃棄物処理の体制作り>でした。

当社の製品はお客様の製品の顔となるラベルを印刷しており、万一、廃棄物の処理経路にて問題を発生させた場合には、直にお客様に社会的にも大変なご迷惑をお掛けすることになります。

このために、廃棄物に関する法令や条例について各事業所の所在地別の調査や廃棄物業者との契約および立入調査など徹底的に行うとともに、廃棄物管理規定の作成などに非常に神経を使いました。法律に対する具体的な施策については大手企業の専門家にも指導して頂いたこともありました。また、自社だけでなく外注委託先においても同一の管理を行う必要性がありますために、廃棄物に関する説明会等も行うとともに、規模の小さな委託先で発生する廃棄物は出来る限り当社に引取り、当社のルートで廃棄を行い、問題の発生する可能性を最小限にしました。

なお、法律・条例の整備する段階で、公的な面を含めて東京と地方との意識の格差があり、手間取ったこともありました。現在では、法律・条例は特別な内容以外は東京で管理し、審査機関や板橋区からの情報およびネットでの法改正情報(法律情報機関に加盟)などで入手し、必要な場合は各事業所への確認と指示を行っております。

一方、ISOは文書作成が重要な作業となりますが、当社の特長はマニュアルで使用する用語を出来る限り平易な言葉に置き換え、従業員が読み易い文面に行っていることです。また、可能な限りマニュアル内に取り込み、下位文書(規定・要領 等)への落とし込みを少なくしていることで、マニュアルで殆どのことを理解出来るようにしていることです。これにより、管理職や内部監査員の人達はほとんどのことをマニュアル1冊で内容の再確認や従業員の教育を出来るようにしております。

FP 福島印刷工業株式会社

＜経営理念＞

お客様の信用・信頼をあらゆる事業活動の原点とし、お客様に満足して頂ける企業を目指します。
地球に優しい生産活動を推進し、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します。
変化に向き合い・機会を見出し・挑戦する、自由闊達な企業を目指します。

＜経営方針＞

お客様に満足される価値ある製品とサービスの提供に努めます。
健全かつ公正な経営を目指し、持続的な発展を図ります。
ビジネスパートナーの方々に協力して頂くとともに、お互いの繁栄を図ります。
全従業員が主体性と創造性を発揮できる、人間尊重企業を目指します。

＜品質方針＞

ニーズに適合した製品とサービスの提供により、お客様の満足と信頼を得よう。

1. 品質マネジメントシステムにおける一人一人の役割と責任を果たし、更なる品質の向上を目指す。
2. 法的要求事項を遵守し、お客様に安心して使って頂ける製品を提供する。
3. お客様の要求事項を第一に考え、柔軟かつ迅速に対応する。
4. 品質方針及び品質マネジメントシステムの継続的改善を行う。

＜環境方針＞

＜地球に優しい生産活動＞を経営理念に掲げ、豊かで美しい地球環境の保全・人と自然の調和・地域社会との共生を目指し全従業員および当社のために働くすべての人々が一丸となって、継続的な環境マネジメント活動に邁進します。

1. 法的及びその他の要求事項の遵守

国、地方公共団体が定める環境に関する法律、基準及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

2. 循環型社会の形成と汚染の予防

以下の活動により、循環型社会の形成と汚染の予防に努めます。

- a. 環境に配慮した製品の提供
- b. 環境負荷の低減を目指したグリーン調達の推進
- c. 省資源及び省エネルギーのための業務改革
- d. 廃棄物発生量を抑制するためのムダ・ロスの削減
- e. 環境汚染の回避と低減を目的とした化学物質の使用抑制と安全管理

3. 目的・目標の設定と継続的改善

環境方針に基づき環境目的・目標を定め、計画的に実行し見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善を推進します。

4. 経営者による環境マネジメントシステムの見直し

経営者が定期的に環境マネジメントシステムの見直しを行い、継続的改善を図ります。

5. 全従業員への周知と実行

全従業員および当社のために働く全ての人々への教育・訓練及び啓蒙活動により、環境に対する自覚と責任の意識を高め、環境方針の実現を目指します。

6. 情報の開示

環境方針及び環境への取り組みに関する情報を必要に応じて開示します。

7. 顧客要求事項の変化への対応

顧客要求事項の変化に応じた環境の管理体制の改善を行います。

2007年12月25日
福島印刷工業株式会社
代表取締役社長
福島宏昌

※情勢の変化に基づき、取得後に改訂

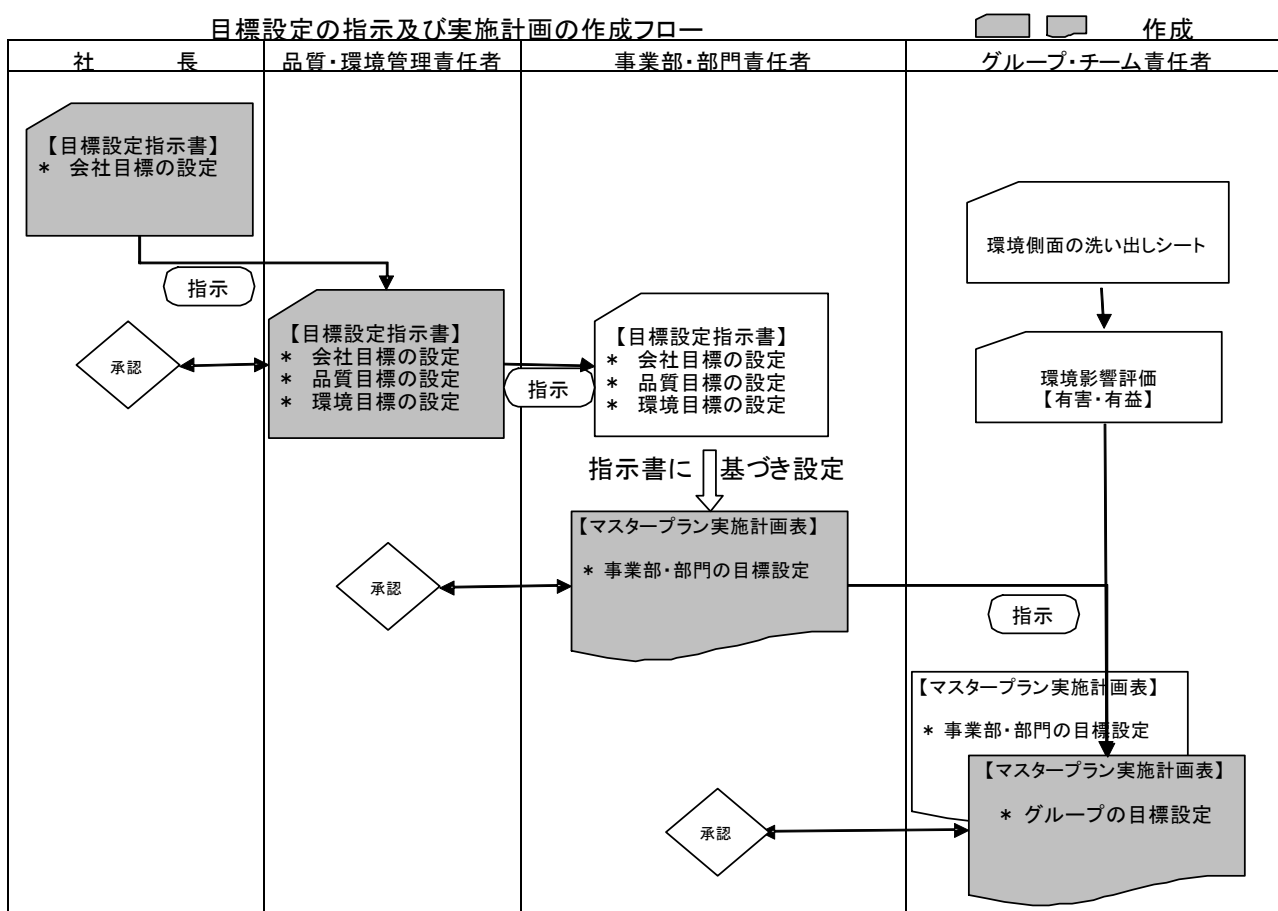
【目的・目標の管理】

1. 目標設定

- 年度毎に社長が会社目標を設定し、会社目標に基づき、品質・環境の管理責任者が品質目標・環境目標を設定する。設定された会社目標、品質・環境目標は「目標設定指示書」として各事業部・部門の責任者に目標設定の指示が出される。
 - 指示を受けた事業部責任者および部門責任者は「目標設定指示書」に基づき、事業部及び部門の目標を設定し、所轄するグループの責任者に目標設定の指示を行う。
 - 各層で設定された目標は各層の上位者が承認の上で、下位に指示が出される。
 - この目標管理シート(当社での名称はマスタープラン実施計画表)には、目標を達成するための「手段・方法」「実施責任者・実施者」及び「実施計画(期限)」が明記される。
- ※ この目標管理は環境関連だけでなく、品質や効率などの各部門・グループの目標を1つの帳票にまとめ、ISO活動が分離しないようにしています。

2. 進捗管理

- 設定した目標に対する進捗管理は、月 1 回開催される各部門毎の部門ミーティングで上位者の出席のもと、各グループの責任者が経過及び結果の発表が行われる。実施した結果や経過および実施内容について、上位者からの指示・指導が行われ、これらの内容も進捗管理表に記載される。
- 月毎の見直し(部門ミーティング)により、目的・目標に対する次月の重点実施内容を進捗管理表に明記し、グループ全員に指示・伝達が行われる。



【環境への配慮】

- * 当社は印刷で必然的に発生する廃棄物を可能な限り「リサイクル化」すべく、印刷時に発生したく不良紙>や加工時に発生したく抜きカス>を分別し、製紙メーカーへの返却を実施
- * 印刷のインキ乾燥時に発生する揮発性物質の削減および作業の効率化を目的として、所有する各種の印刷機の乾燥装置をUV化(紫外線硬化)している。
- * プリプレス(印刷の版の製作工程)においては、従来使用していたフィルムを無くしたCTP化を進め、オフセット版・樹脂版・フレキソ版を可能にしている。
- * 各部門の個別の取り組みは前述した目標設定において、環境に関連した目標を明確にし、期限管理を行っている。

【作業環境の整備】

温湿度管理	静電気防止
場内気圧管理	外部からの塵埃流入防止
防虫管理	内部・外部の防虫対策(外部委託業者によるメンテナンス)
作業服	毛髪・体毛の落下防止および異物(私物)の混入防止を目的として業者による一括管理とし、個人でのクリーニングは禁止
その他	Pパレット化:木製パレットの防腐剤の異臭転移を防止 定期的な塵埃測定・血痕付着防止の管理 等

【取得しての効果】

様々なお客様による監査・審査があり、当工場に調査や見学に来社されます。また、大手企業様においては購買先を削減し、特定化しようとするための評価が行われることもあり、ISOの認証取得は取引して頂くための最低条件となっているのが実情です。

このような状況のために、認証取得後ではお客様による監査・審査における要求事項には対応出来る体制となっていることで、監査・審査のための対応準備に追われることが少なくなり、内容も簡易になりつつあります。

また、社長が策定する目標に対する組織の層別および全部署における目標の関係が明確になり、目標の進捗管理のシステムが出来たことが大きな効果と考えています。

【今後の課題】

- * 目標管理を如何に個人ベースまで持って行けるか？
- * 内部監査制度 a. 監査結果と評価 —各部署の責任者層の理解度及び部署内浸透度を評価することによる部門間格差の是正
b. 事業部間の相互監査 —事業部間格差の是正
- * 現時点では、まだまだISOは実務とは別物といった扱いになっており、これを如何に実務に溶け込ませるかが大きな課題と考えています。このために、PDCAサイクルを基本とした目標管理の強化が重要であり、理解を深めるために月々の進捗管理における上位者からの指導が課題であると判断しています。このため、管理職層への再教育及び内部監査員の増員を目的とした候補者の選出を行い、勉強会を開始しており、この教育をISO事務局の来期1年間の目標としています。

【当社の製品紹介】



- * 台所(食器)用洗剤、住居用洗剤、洗濯用洗剤 等の容器ラベル
- * ヨーグルト・プリン・アイスクリーム 等の容器ラベル
- * 各種ディスク用カード・SD用カード・ICカード 等
- * 文具類用のラベル
- * お酒用ラベル
- * 医薬用ラベル
- * クリアファイル

他の様々な種類の印刷を行っております。